

きゅうしゅう

No.16

編集・発行 九州防衛局 総務部
福岡市博多区博多駅東2丁目10-7
福岡第2合同庁舎内 TEL092-483-8811

目次

- 1 航空自衛隊芦屋基地
 - ・基地司令挨拶と所在部隊紹介
 - ・芦屋基地航空祭
 - ・第3術科学校、第13飛行教育団
- 2 自治体紹介 ～福岡県遠賀郡芦屋町～
- 3 九州防衛局業務紹介
- 4 感謝状贈呈、インフォメーション

T-4型機

地对空誘導弾
ペトリオット

芦屋釜の復興と
茶の湯文化の普及を
目指した「芦屋釜の里」

芦屋航空基地沿革

- 昭和17年 芦屋飛行場完成
- 昭和36年 航空自衛隊芦屋基地開設
- 昭和36年 西部航空施設隊編成完結
- 昭和36年 第3術科学校、岐阜から移転
- 昭和37年 第13飛行教育団、宇都宮から移転
- 昭和41年 第2高射群整備補給隊、第5、第6高射隊新設
- 平成13年 第13飛行教育団 T-4練習機に全機換装



九州防衛局 Kyushu Defense Bureau

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>



1 航空自衛隊芦屋基地

基地司令挨拶



第3術科学校長 兼 芦屋基地司令
柏原敬子空将補(平成23年8月5日着任)

「きゅうしゅう」読者の皆様、こんにちは。芦屋基地は、福岡県の北九州市に隣接し、響灘に面した、航空自衛隊で3番目に広い基地です。ここに、今回ご紹介する様々な部隊や学校が所在し、約1400人の隊員が勤務しています。

以来400年にわたり、地元の方々が苦勞して維持してこられた白砂青松の美しいところです。

芦屋基地では、隊員自らが松を大切にしている運動を進めています。松の育成に造詣の深い先生をお招きして講義を受けたり、松樹愛護運動の日を決めて、月に一度基地内の松林の清掃活動を行っています。また、基地の施設整備や安全確保のため、やむを得ず松を切らなければならない場合もありますが、毎年計画的に幼松を植林するほか、松くい虫の防虫作業を行ったりしています。

地元の皆様大切にされている松を、隊員達も大事にすることで、地域の方々との交流が活発になり、基地に対する御理解や親しみも一層増すものと考えています。

皆様、どうかお気軽に芦屋基地に見学にいらしてください。隊員一同お待ちしております。

自衛隊における福岡県出身者は約5%ですが、芦屋基地には本県出身者が30%以上と高い比率になっています。また、女性自衛官は自衛隊全体で5%ですが、当基地にも約6%の女性自衛官が、男性隊員と同様に活躍しています。

基地を含む一帯は、江戸時代に防風林として松が植えられ、

芦屋基地所在部隊紹介



地对空誘導弾ペトリオット

第2高射群

芦屋基地には、ペトリオットミサイルを装備し、西部防空の任務にあたる第5、第6高射隊とこれらを支援する整備補給隊があり、これらの部隊は24時間態勢で防空の任務にあたっています。



被害復旧訓練

西部航空施設隊

芦屋、築城、新田原の3基地に作業隊を置く施設部隊で、基地及び分屯基地において実施する施設の維持保存に必要な支援作業等を通じ、有事における施設活動に必要な部隊及び隊員の訓練を行っています。



航空機に指示を出す管制官

芦屋管制隊

芦屋基地を離発着する航空機や周辺を飛行する航空機の安全を確保するため航空交通管制業務と管制用器材の保守整備を行っています。



携帯用気象観測システム

芦屋気象隊

芦屋基地を離発着する航空機の安全確保等のため、気象予報、気象観測、気象レーダー観測及び気象通信等の業務を行っています。



UH-60Jによる避難者の救助訓練

芦屋救難隊

芦屋基地及び近隣航空部隊の飛行訓練時に救難待機態勢を強化するとともに、航空事故発生時には、乗員の捜索、救助活動を行います。また、各種災害発生時には県知事等の要請により直ちに出勤できるよう24時間待機態勢を確保しつつ、日夜厳しい訓練に励んでいます。



警務点検

芦屋地方警務隊

航空自衛隊内の秩序維持のため、犯罪捜査、交通統制及び警護等の保安業務を行っています。



補給座学教育

第3術科学校



飛行安全等の打ち合わせの様子

第13飛行教育団

今回の広報「きゅうしゅう」では、航空自衛隊における教育機関としての芦屋基地にスポットを当て、航空教育集団隷下の第3術科学校と第13飛行教育団についてP4及びP5において特集しました。

芦屋基地航空祭

11月23日(水)、勤労感謝の日、芦屋基地で航空祭が行われました。

この日は空が終日雲で覆われ、午前中には時折雨が降り響灘からの冷たい風が吹くなど、天候には必ずしも恵まれませんでした。子供連れの家族や熱心な航空ファンなど約3万人が基地を訪れました。

地上には、T-4中等練習機、U-125A救難捜索機及びUH-60J救難ヘリコプター、第2高射群の地对空ミサイル発射装置とともに、陸海空の航空機10数機が展示されました。

また、第13飛行教育団はT-4型機の訓練展示飛行を行い、芦屋救難隊は、U-125AとUH-60Jを使用し、捜索救難の様子を実演しました。

その後、F-4、F-15、F-2などの戦闘機が機動展示飛行を行って練度の高さを見せ、最後にブルーインパルスが華麗な曲技飛行を行い、白煙で空に図形を描くと地上から見上げる観客は歓声を上げていました。



救難の実演(UH-60J)



コックピットを見学する観客(T-4型機)

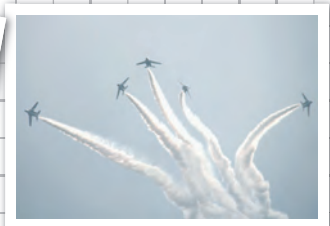


地上展示(地对空誘導弾ベクトル)



若い女性にサインを求められるブルーインパルスパイロット

ブルーインパルス展示飛行



機動展示飛行を行う戦闘機



F-15



F-4



T-4型機



F-2



芦屋基地の名物料理レシピ

「芦屋丼」



材料 (2~3人分)

うるち精米	360g
イカソーメン(ヤリイカ)	約200g
辛子明太子	150g
マヨネーズ	30g
かいわれ大根	1パック
大葉	3枚
刻みのり	4g
さしみ醤油	お好み
わさび	お好み

※さしみ醤油、わさびはお好みで量を調整してご使用下さい。

作り方

- ① ご飯を炊く。
- ② かいわれ大根と大葉を刻み、まぜておく。
- ③ 辛子明太子にマヨネーズを和える。
- ④ どんぶりに適量のご飯を盛り、上に②を盛り付け、その上にイカソーメンを盛り付け、更に上に③を盛り付け、最後に刻みのりをまぶして出来上がり。

実際の献立では辛子明太子をマヨネーズと和えずに、自分好みに仕上げるようにしています。辛子明太子はあえて着色したものを使用すると鮮やかに仕上がります。

お好みでご飯を許飯にすることもお勧めします。

第3術科学校

航空自衛隊では、入隊後、幹部候補生学校や航空教育隊で徹底した基礎教育を受けた後、「術科学校」へ進み、専門的知識・技術を身につけます。

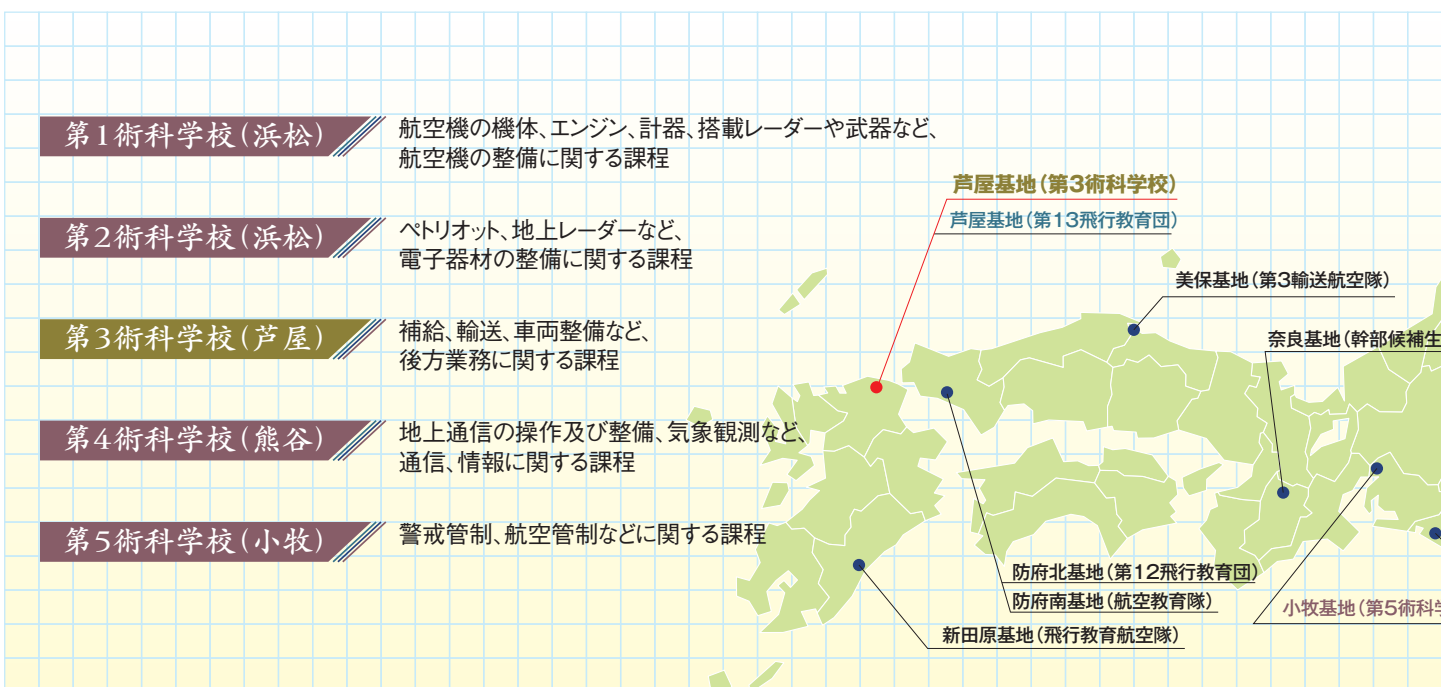
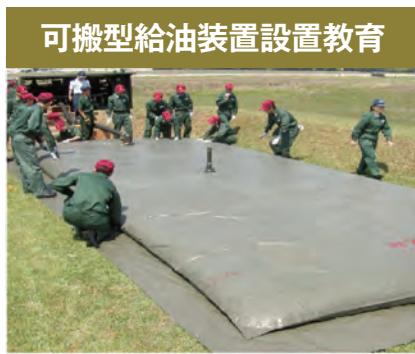
術科学校には、「第1術科学校」(航空機整備等:浜松)、「第2術科学校」(レーダー整備等:浜松)、「第3術科学校」(後方業務等:芦屋)、「第4術科学校」(通信気象等:熊谷)、「第5術科学校」(航空管制等:小牧)があり、多彩な職域に応じた専門性を修得します。

術科学校における教育は、初期段階から専門的な能力を引き上げて、職域のエキスパートへと育成することを目的としています。

芦屋基地の第3術科学校は、後方支援業務に関する課程が中心となるため、職域も幅広く、車両整備、土木建築、電気、設備機械、給汽、消防、輸送、給養、補給、燃料、調達、人事、厚生、会計等の特技職を養成しています。

いずれも、防空という任務を円滑に遂行し、それを支えるためには欠かせない職種です。

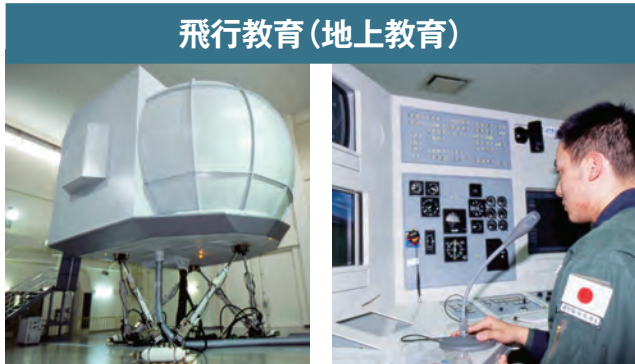
術科学校卒業後は、各部隊に配属され、任務に従事しながら段階的に知識やレベルを向上させる実務訓練や定期的に行われる演習などを通じて能力の向上を図っていきます。



第13飛行教育団

第13飛行教育団は、第11(静浜基地)又は第12(防府北基地)飛行教育団でT-7型初等練習機を使用した初級操縦課程を修了した航空学生が配属され、T-4型中等練習機を使用した戦闘機飛行教育を行います。

第13飛行教育団で行う基本操縦(T-4)前期課程を修了した学生は、浜松基地での基本操縦後期課程及び戦闘機操縦基礎課程を経て、将来、F-15やF-2といった戦闘機に搭乗し、日本の空を守る任務に就くこととなります。



飛行教育(地上教育)

フライトシミュレーター訓練(写真)のほか、英語、航空機取り扱い法、気象、航空管制、航空法規等の操縦に必要な知識及び手順を学びます。



飛行教育(操縦教育)

飛行前・飛行後において教官と学生が1対1の綿密な教育を行うとともに(写真左)、離着陸訓練、編隊飛行訓練(写真右)や飛行特性を把握するための訓練などを行っています。



航空機整備

一定時間を飛行したT-4の検査、航空機の修理などを実施し、飛行安全を確保しています。



航空機運行支援

飛行計画に関すること及び到着、出発する航空機に対して点検、整備などを行っています。



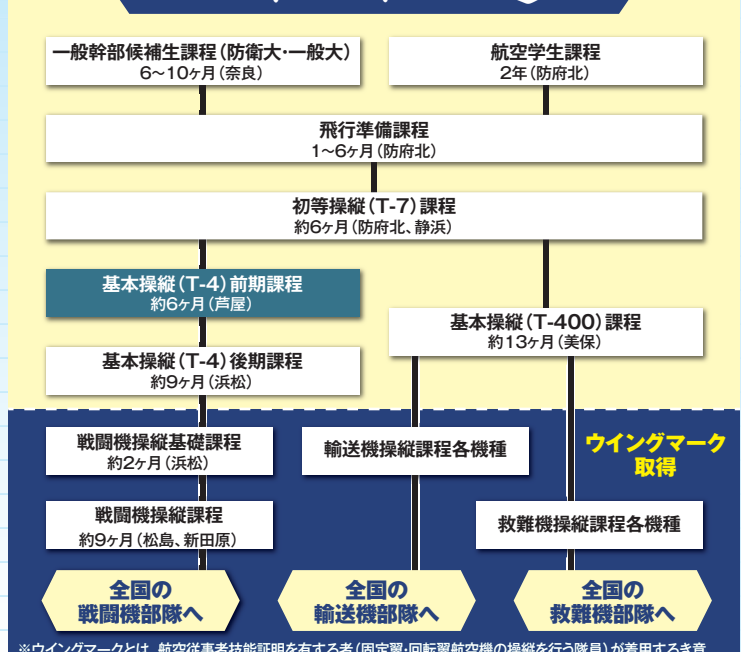
搭乗員等海上救命教育

航空自衛隊では唯一、例年6月から7月に約60名のパイロット及び空中勤務員に対して、海上救命教育を行っています。

※海上救命教育とは、海上に落下傘降下又は不時着水した場合の救命に必要な知識及び技能を修得させるための教育。



パイロットへの道



2 自治体紹介



福岡県遠賀郡芦屋町

魅力を活かし みんなでつくる
元気なあしや

芦屋町長 波多野 茂丸 町長あいさつ

※平成23年11月、自衛隊記念日にあたり、九州防衛局長から感謝状を贈呈いたしました。



芦屋釜の里
芦屋釜の復興と茶の湯文化の普及をめざした「芦屋釜の里」

芦屋町は、福岡県の北端に位置し、東西4.4km、南北5.3km、行政面積1.42km²の町域です。町域のうち、航空自衛隊芦屋基地と町のほぼ中央部を流れる一級河川遠賀川が行政面積の3分の1を占めています。

町の北東部から北西部にかけては、響灘に面する美しく変化に富んだ海岸線となっており、また、北東部から南東部にかけては、北九州市若松区と接する標高60m未満の丘陵地帯となっています。

芦屋町の特性としてまずあげられるのは、美しく豊かな自然、特に玄海国定公園を臨む海岸線の美しさです。福岡県の天然記念物にも指定されているはまゆう群生地や遠賀川をはさんだ東側は洞山に代表される迫力ある奇岩が連なる海岸、西側は白い砂浜が広がる海岸線となっています。

芦屋町は古くは「万葉集」「日本書紀」にも登場する土地で、縄文時代の遺跡など町内には、古い歴史を持つ神社仏閣や文化財も多く存在します。芦屋町の歴史を代表するものに「芦屋釜」があげられ、国の重要文化財に指定されてい

る茶の湯釜9点のうち、8点を「芦屋釜」が占めています。この芦屋釜の復興と茶の湯文化の普及をめざした「芦屋釜の里」、考古学資料や農機具、交易関係品を展示した「芦屋歴史の里」など、歴史と文化にふれることができる町です。

町のイベントとして、あしや花火大会は、遠賀川河口一帯で開催され、約7,000発の花火が打ち上げられています。

その歴史は大正時代に始まり県下でも3本の指に入る歴史と実績があるイベントです。

昭和35年12月に米軍が引き上げ後、翌年に、航空自衛隊芦屋基地が発足し、37年に宇都宮から第13飛行教育団が移駐。昭和41年に第5・第6高射隊を新設。今年で、基地開庁50周年を迎えられました。この間、自衛隊員の方々は、町の発展のために積極的にご尽力を頂いております。

今後とも基地との共存共栄を図り、地域と自衛隊がより良い関係を築き上げていけるよう努めていきたいと考えております。



1 はまゆう群生地



3 芦屋釜



2 洞山



4 あしや花火大会

①はまゆう群生地(県の天然記念物に指定)

夏井ヶ浜の白砂の地に自生し、九州本土では、自生の北限にあたり、7月中旬～8月上旬に開花します。

②洞山

その昔、神功皇后が戦いに行く途中、芦屋に立ち寄り、必勝を誓って矢を射ると、矢は小島を貫通し、その穴が大きくなって洞穴になったという昔話があります。周辺は釣り場も多く、休日には釣り人や、磯遊びで楽しむたくさんの家族で賑わっています。

③芦屋釜

国の重要文化財に指定されている芦屋釜

④あしや花火大会

例年7月開催

3 九州防衛局業務紹介

飛行場周辺の騒音防止事業

九州防衛局では、防衛施設（飛行場や演習場など）周辺の方々の生活や事業活動への障害を防いだり、やわらげたりするため、法律に基づき、市町村等を行う事業に対し助成を行っています。芦屋飛行場周辺において主として、住宅や学校、病院等の防音工事を行っています。

住宅防音工事

対象区域内の住宅の防音工事を行うときは、その費用について補助することができます。

防音工事は、外部に面した窓を防音サッシに取り替えたり、換気扇や冷暖房機の設置などを行います。

また、防音工事により設置した冷暖房機や防音サッシについては、設置から10年以上経過し、故障した場合などには、交換に係る費用を補助しています。

（住宅の建設時期により補助できない場合がありますので、詳しい内容については、九州防衛局にお問い合わせ下さい。）



学校、病院等の防音工事

一定の騒音の影響があると認められる学校や病院、保育所等に対して防音工事を行うときは、その費用について補助しています。

防音工事の内容は騒音の程度により異なりますが、外部に面した窓を防音サッシに取替えたり、防音機能を付加した換気設備及び冷暖房設備の設置などを行います。

また、防音工事により設置した防音サッシや冷暖房設備等については、設置から15年以上経過し、機能が著しく低下した場合には、交換に係る費用を補助しています。



防衛省・自衛隊等の施策や活動の紹介

九州防衛局では、防衛省・自衛隊の施策や活動について、広く地域住民等の皆様にご理解をいただくため、航空祭、音楽隊の演奏会など部隊行事の中で、東日本大震災に係る自衛隊の活動、防衛白書や九州防衛局の業務についてのパネル展を随時行っております。

芦屋基地航空祭にて「パネル展」実施～地方協力確保事務～

11月23日(水)勤労感謝の日、芦屋基地航空祭が開催され、様々な催しが行われる中、九州防衛局は、防衛省・自衛隊の施策に関する広報のため、飛行格納庫の一角に展示コーナーを設け、東日本大震災における自衛隊等の活動写真や防衛白書、当局の仕事を紹介するパネルを展示しました。

展示コーナーへの来場者に対しては、白書の説明や自衛隊の国際協力20周年のパフレットなどの配布を行いました。



■写真：多くの観客が詰めかけた九州防衛局広報コーナー

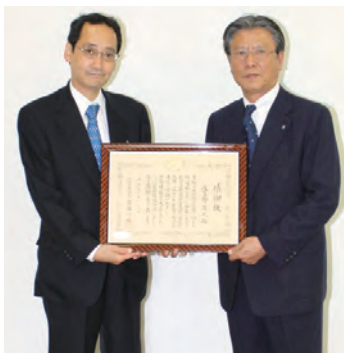
開催予定やこれまでの開催状況等詳しい情報につきましては、九州防衛局のホームページをご覧ください。

<http://www.mod.go.jp/rdb/kyushu/>

4

感謝状贈呈 芦屋町長、湧水町長

平成23年11月、自衛隊創立記念日にあたり、廣瀬九州防衛局長より、波多野芦屋町長（福岡県遠賀郡芦屋町）及び米満湧水町長（鹿児島県始良郡湧水町）にそれぞれ、防衛行政に対する日頃のご協力や両町長のこれまでの努力や功績に感謝の意を表し、感謝状を贈呈いたしました。



(右)波多野茂丸 芦屋町長
(左)廣瀬 九州防衛局長



(右)米満重満 湧水町長
(左)廣瀬 九州防衛局長

インフォメーション

平成24年度から防衛省職員の採用方法が変わります!

防衛省では、これまで、国家公務員採用試験とは別に、防衛省職員採用I・II・III種試験を行ってまいりましたが、平成24年度から新試験制度が導入されることに伴い、防衛省職員採用I・II・III種試験を廃止し、人事院が行う国家公務員採用総合職試験及び国家公務員採用一般職試験の合格者から採用を行います。

なお、防衛省職員採用II種試験で行っていた試験区分「語学」及び「国際関係」については、引き続き、防衛省が行う防衛省専門職員採用試験の合格者から採用を行います。

廃止

- 防衛省職員採用I種試験
「研究職」
- 防衛省職員採用II種試験
「行政職、技術職、研究職」
- 防衛省職員採用II種試験
「語学職、国際関係職」
- 防衛省職員採用III種試験
「事務職、技術職」



平成24年度以降

- 国家公務員採用総合職試験
(院卒者試験、大卒程度試験)
- 国家公務員採用一般職試験
(大卒程度試験)
- 防衛省専門職員採用試験
「語学職、国際関係職」
- 国家公務員採用一般職試験
(高卒者試験)

※細部につきましては、確定次第、防衛省ホームページに掲載します。また、人事院のホームページも併せてご参照ください。

お問い合わせ先
防衛省大臣官房秘書課
採用試験室

03-3268-3111
内線:25001/25002

九州防衛局では不測の事態に対応するため、夜間・休日を問わず連絡体制を確保しております。

夜間及び休日の連絡先

電話:(092)483-8832 FAX:(092)472-1959

- ・平日は 17 時 15 分から翌朝 8 時 30 分まで、休日は終日。
- ・上記以外の時間帯は各課室直通電話へご連絡下さい。

ご意見・ご感想

TEL 092-483-8813

mail info@kyushu.rdb.mod.go.jp